



桐里っ子

井上小学校だより
平成24年6月11日
NO 3
文責：金子（教頭）



例年に比べて初夏の訪れが遅いように感じますが、さわやかな季節となりました。前号で1年生が鯉のぼりを作ったことはお知らせしましたが、5月29日（火）の参観日には、松組・竹組あわせて4匹の鯉のぼりが元気に泳ぎました。

今、子ども達は22日（金）の校内音楽会に向けて一生懸命練習に励んでいます。おうちでも子ども達に励ましの言葉をかけていただけるとありがたいです。

音楽会へのご来校をお待ちしております。

JRC登録式がありました 6月6日(水)

ちかい
わたくしは
青少年赤十字の
一員として
心身を強健にし
人のためと
郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことを
ちかいます。



JRCとは「青少年赤十字」のことで、本校のJRC委員会は、赤い羽根共同募金、ユニセフ募金、書き損じハガキ集め、ポスターの掲示（当番活動）等を担当しています。この日行われたJRC登録式では、JRC委員会の活動を知ると共に、みんなで「ちかい」を読み上げました。

みんなで大切に歌いたい歌「命～電池が切れるまで～」 6月7日(木)音楽集会

「命～電池が切れるまで～」は、5歳のときに発症した神経芽細胞腫と5年半にも及ぶ闘病生活の末、11歳という短い生涯を終えた宮越由貴奈さんが亡くなる4ヶ月前に書いた詩に、本校音楽専科の小林理恵教諭が曲をつけた歌です。子ども達はこの歌が大好きで、音楽会で発表することを目標に全校で歌っています。この日の音楽集会では、小林先生から「思いを伝えましょう」という指導がありました。22日（金）の音楽会で、ぜひお聴きください。



※1 この詩は、「電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ」すずらんの家（角川書店）に掲載されています。また、宮越由貴奈さんの名前でインターネット検索をすると、詳しいことがわかります。

※2 小林教諭が作曲・編曲したこの曲は、「第11回TIAA全日本作曲家コンクール」で入賞しました。

〈友だちと向かい合って歌おう〉〈天国の由貴奈さんまで響け！〉

「がんばれ〜！」 6月8日(金)自転車大会壮行会

10日(日)に須坂市民体育館で行われる「交通安全子ども自転車大会(須高地区大会)」に参加する8人の皆さんを応援するために、壮行会が行われました。

8人は約1ヶ月間一生懸命練習してきた「安全走行」と「8の字走行」を披露し、大きな拍手を受けました。そして、最後に校長先生の

「がんばれ〜！」のかけ声に合わせて、みんなで「がんばれ〜！！」の声援を送りました。

なお、昨日行われた大会で井上小学校の2チームはこれまでの練習の成果を発揮して精一杯走行することができ、Aチームはみごと8位入賞の榮譽に輝きました。おめでとうございます。



←安全走行の発表に向かう

8人のメンバー



〈しっかりと合図を出して曲がります〉

子ども達を心配する声が学校へ寄せられています

4月からこれまでに、地域の方や通勤で近くを通る方などから子ども達を心配して様々なご連絡をお寄せいただいていますので、お知らせします。

- ・横断歩道ではない所で、手を挙げて車を止めて横断するのはとても危険です。いつ事故が起きるかヒヤヒヤします。
- ・登校班で道いっぱい横に並んで歩いています。車が来てもよけません。
- ・自転車で急に道路に飛び出す子がいてとても怖い思いをしました。走って飛び出す子もいます。
- ・自転車に乗るときに、ヘルメットをかぶっていない子をよく見かけます。
- ・ビービー弾を人に向けて撃って遊んでいる子がいて、とても危ないです。

どのご連絡も、本当に子ども達のことを心配して丁寧にお話くださっています。保護者の皆様にもこのような声が寄せられていることを知っていただき、子ども達の命・安全を守るために学校と家庭が共に繰り返し指導していきましょう。

P T A 作業・資源回収 ありがとうございます

昨日は、天候の悪い中、朝早くからP T A作業と資源回収にご協力いただきました。おかげさまで、校内はずいぶんすっきりとし、子ども達の学習環境が整いました。本当にありがとうございました。

お知らせ・お願い

- 1 本日、学校要覧を配布しました。どうぞご覧ください。
- 2 夏期の水筒持参についてのお知らせを配りました。水筒を持参する際の約束(特に、登下校中の水分補給について)ぜひお子さんと確認をお願いします。毎日の水筒準備、管理等でお世話になりますが、よろしく申し上げます。
- 3 5月14日(月)の朝、桜組前の遊具の所にかわいいバック(右写真・手作りです)の落とし物がありました。中には「ゆい」と書かれたプーさんのポーチが入っていました。全クラスを回覧して落とし主をさがしましたが該当者はありません。まだ小学生になっていないお子さんのものかもしれません。ご近所にこのバックの持ち主と思われる方がいらっしゃいましたら、情報提供をお願いします。

